

第二回『神棚、しめ縄、榊、大麻、祭事、
日本伝統文化の継承と普及を考える勉強会』

開催内容

1. 日時： 2022 年11月11日(金) 16:30-18:30 （開場・受付開始 16:00～）
2. 場所： 参議院議員会館 地下1階会議室 B104号室 *P.3 アクセスマップ参照
東京都千代田区永田町 2-1-1

3. テーマ：「神棚、しめ縄、榊、大麻、祭事、日本伝統文化について学ぶ」

16:30～18:00

田尾 憲男 最高顧問 挨拶

和田 政宗 顧問 挨拶

木下 顕伸 勉強会の趣旨 説明

第一部 下記第一回勉強会のまとめと復習

① 「神社界の伝統文化の継承」

佐久間 宏和 （公益財団日本文化興隆財団 事務局長・神職）

② 「新嘗祭の意義について」

野田 安平 （靖国神社・神職、偕行文書教学 研究員）

③ 「しめ縄作りの後継者問題と現状」

栗原 茂 （茨城〆縄振興会 会長）

④ 「しめ縄、榊、神棚文化について」

中澤 伸弘 （神道学博士、都立高校教諭）

第二部 質疑応答

休憩

第三部 実践活動のための意見交換及び情報交換

誠に勝手ながら、11月11日間に返信くださいますようお願いいたします。

定員になり次第締め切らせていただきます。定員 50 名

今後の啓蒙、普及活動の為、当日は、講演内容と質疑応答を動画撮影いたします。是非、当日の動画をみなさまの今後の活動に役立てていただけたらと存じます。

以上

神棚・しめ縄・榊・大麻・祭事・日本伝統文化の継承と普及するための実践活動を如何に行うかについて、勉強会開催後、参加者からそれぞれの立場からの御意見を頂いた。

① 啓蒙、普及、今後の勉強会の方法について

○各団体別で問題点について部会を作り意見をまとめて発表をする。

(例 武道団体・神輿会・企業・生産者・神道系)

* 武道場での資料配布

* 動画の配信活用

* ホームページの開設

* 他団体との連携

* 普及指導者認定

* ズームを利用した勉強会の参加

* 指導者だけでなく個人参加を認めるか否か

* それぞれの意見反映

* 情報収集とその提供方法

* 行政に対する普及のための提言

② 現在の状況把握の意見

○榊・しめ縄

* 榊について、各地における生産者の情報提供がない

* 地方では、道の駅などで、榊やしめ縄を販売している

* 都内では、大田市場で外国産榊だけでなく国産も取り扱っている

* 東急系スーパーでは、国内産を販売している。価格は中国産と変わらない。

* 家庭で鉢や庭で榊を育てている

* 育てる方法を知らない

* どこで購入するかわからない

* 海外からの輸入武道は、神棚が必要か否か

○神棚

* 武道家ほど神棚の意義について知らない、形骸化している。

* 宗教は違えど、海外の武道場には、神棚がある。日本人自ら政教分離を唱えている。特にマスコミ

* 花ややスーパーでの榊の販売をみれば、神棚をまつる・個人・会社・などが少なくないことがわかる。

* 賃貸住宅では、神棚を備えられない

○氏神様

* 自分の住所の鎮守様及び謂れがわからない。

- *お守りは買えるが、櫛やしめ縄は買えない。
- *神社に対する事業課税により、宗教活動以外の販売などできない。
- *町内会が氏子になっているが、商店街の減少により氏子も減少している。
- *町内会の減少により神輿などの祭事が減少している
- *神職の減少により、空宮が多くなっている
- *似非神職が地鎮祭を行っている＝建設業者が連携
- *個人及び業者は地鎮祭の意味を知らない

③生産者

- *後継者を育てる研修施設がない
- *コメ生産農家は、農協が定めた価格によれば、経費を引くと赤字になる
- *余ったコメを米粉にしてパンにすれば小麦の輸入は減少する
- *政教分離を唱える農協がある
- *生産者と神社が連携すれば販売網ができる
- *農家は、生産から加工までの産業構築が必要
- *助成金があってもなかなか使えない
- *利益を出せない農家が増え耕作放棄地が増えている
- *耕作放棄地は、ソーラー事業に土地を貸してる
- *大麻については、当局の規制があり栽培できない。しかし、許可を受けたところもある。許可の申請方法がわからない。服飾メーカーなどの関係構築ができない。

以上様々なご意見と情報を頂いた。今後は、それぞれに携わる方々にご意見を聞かせていただき実践活動につなげる勉強会にしたいと考えております。

伝統文化の継承を壊しているのは日本人自らでありこれに気づいて問題解決に当たらなければならない。

戦後の他力本願的思考が蔓延している今日、外来型の商業主義による経済活動は、伝統文化継承の破壊だけでなく、技術や精神文化の破壊を招いている。それは、日本人自らが招いていることであり、農業や食文化、それに基づく神事、祭事が廃れれば、日本国の根源を失うことになる。根源とは、伝統・文化・産業を守ること。つまり、国を守ることである。安易な輸入は、人材・技術・文化だけでなく、国家自身を消滅させるものである。今回は、前期に記した諸問題について、まず、勉強会を重ね、自らが理解し、賛同者と共に考え、打開策を出し合い、実践啓蒙活動を行いたいと考えております。

＜現地までのアクセス＞

- ◆ 住所：東京都千代田区永田町 2-1-1 「参議院会館」

地下1階会議室 B103 号室

- ◆ 最寄り駅：東京メトロ 半蔵門線、有楽町線「永田町」駅。1番出口すぐ。

東京メトロ 千代田線、丸ノ内線 「国会議事堂前」駅（7分）

東京メトロ 南北線、銀座線 「溜池山王」駅（12分）



